

1 総括についての評価

全般的によい方向に向いている。生徒の規範意識も高まり、生徒は安定した状況で学校生活が送れている。授業においても落ち着いた中で授業が成立している。アンケートからは先生方が特に2学期以降授業改善に取り組まれている様子がうかがえる。

しかし、家庭での学習習慣がない生徒が多く、学力向上にまでにはいたっていない。「授業規律の確立と学力の向上は車の両輪である。」学校が学習の場としてきっちりと位置づけられてくると、学校へ来れない生徒も増えてくる(不登校生徒への対応)。学校へ学習をしに、登校してくる生徒の学力を向上させることが、本校の課題として明らかになってきた。そのためには、勉強したい、先生に教えてほしい等「心」を育てなければならない。

学力向上の取り組みを通じて、様々な課題の解決につなげたい。

数値では、「学校の規則を守っていますか 92.2%」目標(95)には届かないが、高い数値である。「人の役に立つ人間になりたいと思いますか 93.0%」目標(95)には届いていないが、大阪府や全国を上回った。「読書が好きですか 42.6%」と低い状況である。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

取組内容①【 習熟度別少人数授業の実施】

国語・数学・英語の3教科では、授業内容、授業形態の工夫を含め、きめ細かな指導により、個に応じた学習指導を行う。定期テスト、実力テストで「知識理解、思考力、判断力、表現力など基盤となる評価項目に沿って問題作成する。国語科では、漢字検定(1, 2年)を実施し、学習意欲の向上を図る。

取組内容②【 I C T授業力向上のための研究授業及び教員相互参観の充実】

教員相互による授業方法を交流し、「発問の仕方」「学習規律」「課題の設定」など教師力の向上を図る。研究協議の充実を図り、明日につながる授業づくりに生かし、生徒へ「わかる授業づくり、魅力ある授業」を提供する。

取組内容③【 定期的な宿題提示及び自学自習の確立への取組】

家庭学習習慣定着のための、各教科による日々の宿題の提示。週末には、課題学習の提示および点検。学習習慣の定着をめざす。学校元気アップ地域本部事業による自学自習力確立への手立て提示する。

取組内容④【 小中一貫教育の推進】

9年間を通して、めざす子ども像「場の応じたあいさつがしっかりできる児童・生徒を育てる」を目標に、教育内容を充実させる。

学校秩序の回復・維持・発展と学力向上の関連性は必然である。

生徒アンケートより「時間を守る(89%)」「ルール・マナーを守る(94%)」と指導が浸透し、「楽しく学校生活を送っている(85%)」と安心して学校生活を送れる雰囲気がてきた。

学力面では、授業規律の徹底を図り、分かる授業の創造に取り組んできたが、「授業はわかりやすい71%(27年度68%)」と改善はみられるが、まだまだ低い。

習熟度別学習の定着や学習サポーターの導入などきめ細かな指導に尽力した。また、1, 2年生では漢字検定を実施した。週末課題、長期休業中の課題などで学習習慣の定着を図った。教員の相互参観や研究・公開授業は充実しており、教員相互の授業力向上につながっている。

「発表や話し合いなどを取り入れた授業を積極的に行っている」の項目では、93%で目標達成(60%)を大きく上回った。また、学習習慣においては、「家庭で復習をしない31.3%(27年度34.1%)」「予習をしない43.5%(27年度37.9%)」など、改善もみられるがまだまだ高い。家庭学習習慣への啓発および学習への意欲向上を図る必要がある。

年度目標：道徳心・社会性の育成

取組内容①【道徳教育の推進】

道徳教育委員会を中心に年間指導計画・読みのも教材指導案を作成する。

生徒一人ひとりに、「自分の生き方を見つめ直し、これからの生き方にどういかしていくか」という課題設定で実践を行う。

取組内容②【規範意識の向上】

- ・「言葉づかいは心づかい」「元気よく・気持ちよく、あいさつしよう」の実践。身だしなみを整え、生徒自らに『時間を守る』姿勢を身につけさせる。
- ・体罰根絶への指導体制を確立させ、生徒理解を深める研修会および相談活動の実施。

取組内容③【キャリア教育の推進】

キャリア教育年間計画に沿って、系統立てた教育内容を推進する。

取組内容④【防災教育の推進】

「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。

取組内容⑤【不登校傾向生徒への対応】

- ・生徒の状況把握を図り、全教職員で共通理解し、生徒の心の変化を早期に把握し、個別支援の具体的な手立てを講じる。
- ・スクールカウンセラーを活用した、心のケアが必要な生徒への別室対応の充実。

12月実施の生徒・保護者アンケートより生徒：「学校のルールやマナーを守っている94%」「時間を守って学校生活を送っている89%」「楽しく学校生活を送っている85%」である。保護者：「お子さんは、楽しく充実した学校生活を送っている84%(昨年度75%)」である。

アンケート結果から、学校の学習環境が安定し、基本的な生活習慣の確立に向けての取組に成果が表れている。

①道徳教育では、各学年 20 本の読み物教材を活用した授業を展開している。授業では、自分の考え方や人の発表を聞いて、人間としての生き方を学ぶ機会として継続している。

「人の役に立つ人間になりたい」「学校のルールを守る」全国平均を上回る。

②「登校遅刻ゼロ」の取り組みは、25 分登校がほぼできてきている。20 分ごろから校門まで走って登校する生徒の姿は、学校改善が進んできた成果である。一方、遅刻生徒の固定化が見られる。

③防災教育では、火災と震災を想定した避難訓練の実施。町会別下校訓練も実施。また地域防災訓練に参加した。災害時の適切な動きを身につけることはもちろん、災害時に地域で活躍できる生徒の育成を目指し、防災の担い手としての意識向上を図った。

④不登校生徒への対応は、生活指導支援員の配置により、別室で学習する生徒への対応の充実を図った。多様な対応が必要な生徒へは、主任会できめ細かい指導体制の確立を図った。

年度目標： 健康・体力の保持増進

取組内容①【 体力向上の推進 】

基礎体力の向上を目指し、全国体力・運動能力、運動習慣調査では、体力合計点を全国平均以上にする。(1 ポイント) 特に「長座体前屈」「立ち幅とび」を重点項目にする。

取組内容②【 食育の推進 】

食に関する知識と食習慣を身につけるための教育活動を進める。

取組内容③【 健康に関する指導の推進 】

発達段階に応じた健康に関する指導を系統的に行う。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男子は体力合計点で大阪市・全国を超した。女子は大阪市を超し、全国に僅差の数値となっている。

学校生活全般において、目的意識を持ち取り組む素地づくりを保健体育の授業内で取り組んでいる。その成果として、何事においても真摯に取り組む姿勢が身に付きつつあり、このことが基礎体力の向上につながったと思われる。

○給食指導を通して、食育を実施。「食育通信」を毎月発行できた。

保健委員が住吉区保健委員会主催の食育教育を受講した。

1 年生で外部講師を招き、食育授業を家庭科で行った。

○「薬物防止教室」薬剤師と連携して実施した。

年度目標：学校・家庭・地域の連携の推進

取組内容①【 地域防災訓練・大和川清掃への生徒参加 】

防災教育の一環として、地域防災訓練に参加する。大和川清掃活動を通して、地域と

郷土を愛する心を育てる。

取組内容②【 地域 音楽祭の開催 】

大和川中学校、遠里小野小学校、山之内小学校、建国中高等学校、浪速中高等学校、府立視覚支援学校、ゆうけい（特別養護施設）を含む関連組織と連携会議を開催する。

取組内容③【 学校・地域連携組織の確立 】

地域関連行事を把握し、組織的に教職員、生徒の参加を行い、地域連携を進める。

第4回 大和川地域音楽フェスティバルの開催【平成28年12月23日（祝）場所：大和川中学校体育館】5団体の児童・生徒のつながりを深める取組として、駅前ビラ配布、個別宅ビラ配布を数回、高校生と中学生が一緒に配布し、周知活動を行った。また、当日の運営司会を中学校の生徒会が行い、児童・生徒の手による地域貢献の取り組みへ更に一步踏み出すことができた。

当日は、区政だよりや配布ビラを見て参加していただいた方や昨年度も来校いただいた方など300名を超える地域の方々の参加がありました。

大和川中学校（吹奏楽部、ギター部）遠里小野小学校（おりおのジュニアバンド、お琴演奏）建国中高等学校（吹奏楽部）浪速中高等学校（吹奏楽部）府立視覚特別支援学校（高等部）の120名の音楽関係の部活動の参加。

防災拠点となる学校づくりと 生徒が地域防災の担い手となる人づくり

地域防災教育を推進する行政組織と連携し、地域コミュニティ組織の活性化といざというときの心構えを意識した防災訓練等の実施に向けて取り組みを実施した。

- 山之内地域運動会に吹奏楽部が参加 5月
- 地域町会別 震災下校訓練 7月
- 地域連携行事参加 9月（敬老会演奏、地域運動会、地域まつり）【延べ100名】
- 住吉区総合防災訓練に土曜授業として参加 12月
- 火災発生 避難訓練 12月
- 大和川地域音楽フェスティバル（本校 体育館 12月 【300名超】
- 大和川地域クリーンキャンペーン 3月

3 今後の学校運営についての意見

よい方向に向いていると聞いて嬉しい。生徒のがんばる報告をたくさん聞かせていただいた。数字的にも「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも、男女とも大阪市を上回る結果が出ている。また、体育大会や授業のようすから落ち着いた状況で学習ができているのがわかる。今後、引き続き授業規律の確立と学力の向上に取り組んでもらいたい。更に不登校生徒への指導や部活動の充実等学校選択制のもと選ばれる学校づくりをお願いします。